

# 地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

# 事業概要【県北ニューツーリズム推進事業】

推進当初

申請者	茨城県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	222,013千円 (44,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<p>・地域の里山やハイキングコースを新たな滞在・体験型の観光資源として活用することにより、宿泊を伴う周遊型・長期滞在型の観光へと誘導し、地域での観光消費の増加を図る。</p> <p>・ロングトレイルへの来訪者等をターゲットとした、民間事業者との連携によるキャンペーンの実施や、意欲ある観光関連事業者のコンテンツや商品等の磨き上げを通じた誘客促進により、地域の人々が主体となって山と街を巡る人の流れを生み出していく。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○情報発信及びマップ・ガイド作成 (10,000千円)</p> <p>・公式ホームページの運営 (4,000千円)</p> <p>・ロングトレイル及び地域資源等の周遊型マップの作成・PR (6,000千円)</p> <p>○将来的な運営管理体制の検討及び検討会の運営 (2,500千円)</p> <p>・ロングトレイルの整備及び活用に関わる人材の育成 (2,000千円)</p> <p>・検討会 (協議会) の運営 (500千円)</p> <p>○地域資源の掘り起こしや磨き上げによる周遊型観光への誘導 (8,000千円)</p> <p>・登山アプリと連携した周遊型観光への誘導 (8,000千円)</p> <p>○ロングトレイルコースの道標・案内板の作成及び設置費用 (測量費含む) (14,300千円)</p> <p>○ロングトレイルコースの下草刈り等の実施 (9,900千円)</p>		
KPI	<p>①ロングトレイルコースへの来訪者数 (+110,000人)</p> <p>②県北地域での山岳イベント参加者数 (+2,655人)</p> <p>③事業に関連するお土産品や旅行商品等の開発件数 (+23件)</p>		<p>関連 URL</p> <p><a href="https://kenpokult.com">https://kenpokult.com</a></p>

※経費内訳はR6年度  
事業費

※カッコ内の数値は最終  
事業年度までの「KPI  
増加分の累計」の目標  
値

# 事業概要【県北地域牽引産業・中核企業創出事業】

推進当初

申請者	茨城県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	189,416千円 (39,530千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の下請取引形態の変化に対応するため、一括受注や一貫受注が可能な企業連携体の育成を図る</li> <li>・自社にない技術をもつ企業や、大学や研究機関等の研究開発人材との連携により、より付加価値の高い事業に取り組む企業を創出する</li> <li>・大学生等の研究開発人材が、地元の県北地域の中小企業に根付く環境づくりを図る</li> </ul>		
<b>事業概要・主な経費</b> <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>県北地域経済を牽引する力のある企業が育つ環境を構築するため、企業の取引形態の変化に対応できる企業連携体の育成・活動支援や、県北地域企業の設計・研究開発人材確保のため産学連携等に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○分野特化型連携体の活動支援 (委託料) 16,682千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療や宇宙などの分野に特化した企業連携体の販路開拓支援</li> <li>・企業連携による新分野進出への支援</li> <li>・コーディネータの配置</li> </ul> </li> <li>○技術開発・研究開発人材確保支援 (委託料) 22,848千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学等連携共同開発の支援</li> <li>・インターンシップ等による、中小企業と開発人材との人材交流</li> </ul> </li> </ul>	 <p>連携体の展示会出展</p>  <p>宇宙分野参入に向けた取組</p>  <p>産学連携による開発品</p>  <p>インターンシップ説明会</p>	
<b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①支援による年間受注金額 (+30,000千円)</li> <li>②新分野進出に向けた企業連携数 (+2件)</li> <li>③技術開発・研究開発人材確保支援：産学連携件数 (+100社)</li> </ul>	<b>関連URL</b>	<a href="https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukai.html">https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukai.html</a>

# 事業概要【Uターン・地元定着支援強化事業】

推進当初

申請者	茨城県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	70,982千円(14,180千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>・高校～大学～就職まで継続的に若者に情報発信する仕組みを構築することで、就活時点で茨城で就職するという選択肢を持った学生を一人でも多く増やし、Uターン・地元就職促進を図る。</p> <p>・企業向けに「戦略型採用」を学ぶ連続集中講座を開催することでモデルとなるような成功事例を創出し、企業自らが採用戦略を見直し、実践し、結果を出すというサイクルを生み出せるよう、他企業に横展開を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高校生対象早期キャリア講座の開催 (委託料3,477千円)</li> <li>○本県独自のインターンシップ「いばらきプログラム」の実施 (委託料3,903千円)</li> <li>○県内外大学との連携による企業の魅力発信強化 (コーディネーター報酬、会場使用料等 3,035千円)</li> <li>○企業の採用力強化事業の実施 (委託料3,765千円)</li> </ul>		 <p>(高校生対象早期キャリア講座の様子)</p>
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①本県出身県外大学生の県内企業等へのUターン就職者数 (+450人)</li> <li>②高校生向け早期キャリア講座受講者数 (+160人)</li> <li>③「戦略型採用」講座等受講企業数 (+70社)</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) <a href="https://kifuru.pref.ibaraki.jp/project/project-991/">https://kifuru.pref.ibaraki.jp/project/project-991/</a></p> <p>(効果検証) <a href="https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukair5.html">https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukair5.html</a></p>

# 事業概要【桜川市の魅力・地域力をあますことなく発掘、創造、発信する地域商社設立事業】

推進当初

申請者	茨城県桜川市	初回採択回	令和2年度第1回募集	
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	110,364千円 (20,685千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本を代表する山桜の里」の価値を確立するため、山桜の保全活用、担い手の育成に取り組む。</li> <li>・桜川市の魅力、地域力をあますことなく発掘、創造、発信する地域商社を運営する。</li> <li>・地域産品の磨き上げ・地域の魅力の発信・観光プロモーションを行う。</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○地域商社運営事業 地域商社の運営に要する経費の一部を補助することにより、自立化を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商社運営補助金 15,000千円</li> </ul> <p>○山桜の保全活用に係る関係人口創出事業 「日本を代表する山桜の里」の価値を確立するため、山桜の保全活用、担い手の育成に取り組みながら関係人口を創出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係人口創出に係る検討・情報発信費 (委託料・使用料・広告料) 2,436千円</li> </ul> <p>○地域産品の磨き上げ・販路開拓、地域の魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産品の磨き上げ支援 (委託料) 1,980千円</li> <li>・地域産品の販路開拓支援 1,269千円</li> </ul>			
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①桜川市地域商社の売上高 (+390百万円)</li> <li>②桜川市地域商社設立準備委員会の参加者数 (+100人)</li> <li>③桜川市地域商社と連携する事業者数 (+210者)</li> <li>④桜川市地域商社が開発した商品数 (21件)</li> </ol>		関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) <a href="https://kabaichi.com/">https://kabaichi.com/</a> (効果検証) <a href="https://www.city.sakuragawa.lg.jp/shisei/sousei/">https://www.city.sakuragawa.lg.jp/shisei/sousei/</a>

# 事業概要【「農業と観光のハーモニー」DAPPE project】

推進当初

申請者	茨城県鉾田市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	282,550千円 (54,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉾田を知って、来て、見て、体験してもらい、関係人口・交流人口の拡大を図る</li> <li>・「農業×観光」「農業×物産」の切り口に、地域の魅力を活かした観光振興を図る</li> <li>・基幹産業である農業の「稼ぐ力」の向上をめざし、農業振興を図る</li> <li>・イベントやプロモーションを通じて、農産物や自然をはじめとした鉾田の魅力を発信し、認知度の向上を図る。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ (一社) 鉾田市観光物産協会による、観光商品開発、指定管理直売所の集客、観光案内窓口の運営等                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金21,000千円</li> </ul> </li> <li>○ 農産物の販路拡大に向けた認知度向上施策                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料9,000千円</li> </ul> </li> <li>○ 生産者の担い手確保に向けた情報周知の強化、スマート農業の導入に向けた講習会等                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料1,000千円</li> </ul> </li> <li>○ 地域資源の魅力を伝えるイベント、交流事業の開催                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催費用10,850千円</li> </ul> </li> <li>○ 市外イベント出展等を通じた地域魅力の発信                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料12,150千円</li> </ul> </li> </ul>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光入込客数 (+250,000人)</li> <li>②滞在人口率 (+0.10倍)</li> <li>③農業産出額 (+2,500,000千円)</li> <li>④この事業により創出される「関係人口」数 (+260人)</li> </ul>	関連URL	<a href="https://www.city.hokota.lg.jp/page/page002377.html">https://www.city.hokota.lg.jp/page/page002377.html</a>



申請者	茨城県境町	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	419,168千円 (41,896千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>圏央道を活用した公共交通網の充実を図ることで、東京圏等から本町に移住を希望する子育て世帯の抱える不安を解消する。また、現在推進している子育て支援施策のほか、健康支援策をパッケージで実施・提供する。更に、町の基幹産業である農業がより稼げる業種として定着するよう人材育成の環境を整備し、経営の基盤を強固なものとする。これらの施策を積極的に推進することで、子育て世帯の移住者を獲得し、地域の活力を維持していく。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○圏央道を活用した公共交通網の充実等 11,000千円</li> <li>○境町健幸マイレージ 4,856千円</li> <li>○健康長寿100歳プロジェクト 6,595千円</li> <li>○メタボサポートアッププロジェクト 4,000千円</li> <li>○境町子育てシェアタウン推進事業 4,830千円</li> <li>○稼げる農業者育成支援プロジェクト 10,615千円</li> </ul>		 <p>住民の足となる高速バス(英語移住ラッピング)</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①本町の社会人口増減 (+745人)</li> <li>②本町の合計特殊出生率増加率 (+0.20ポイント)</li> <li>③高速バス(東京駅⇄境町)の利用者数 (+56,650人)</li> <li>④貨客混載の取扱高 (+17,520千円)</li> </ul>		関連URL <a href="https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html">https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html</a>

# 事業概要【いばらきサイクルツーリズム推進強化事業】

推進当初

申請者	茨城県ほか11自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	298,517千円 (55,447千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<p>人口減少が著しい県北・県央地域において、官民で設立した協議会と連携しながら、サイクルツーリズムの推進による地域振興につなげるとともに、移住・定住の促進に関わる施策を推進することで、将来的に人口増大及び産業振興、地域の雇用確保等につなげる。併せて、サイクルツーリズムによる滞在型観光の構築による消費喚起策を講じ、自転車活用推進によるサイクリング立県いばらきとしての地域ブランド確立を通じ、地方創生を実現する。</p>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○稼げる地域づくりの実現に向けた環境創造事業 ・首都圏や台湾へのプロモーション等 (委託料等) 14,566千円</li> <li>○サイクリングフロンティア開拓事業 ・マイクロサイクルツーリズムの推進及びサイクリングを通じた移住・定住の促進、協議会運営の負担金等 (委託料等) 7,300千円</li> <li>○市町村におけるサイクリング訪問客の受入態勢の構築やサイクリングイベントの実施、レンタサイクルの活用促進等 (委託料等) 11,780千円</li> <li>○サイクルステーション整備に係る支援 ・サイクリストに必要な設備導入経費の一部の補助、案内看板設置等 (補助金、委託料等) 10,000千円</li> <li>○シェアサイクルの整備、自転車の購入等 (委託料等) 11,801千円</li> </ul>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①サイクリスト宿泊者数 (+1,047人)</li> <li>②サイクリングを伴う教育旅行の誘致回数 (+25回)</li> <li>③移住・定住向けサイクリングツアーの参加者数 (+80人)</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)  <a href="https://ringringroad.com/cyclingibarakai/">https://ringringroad.com/cyclingibarakai/</a>          (効果検証)  <a href="https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubuka.html">https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubuka.html</a></p>

↑ 台湾で開催された台北サイクルでの出展ブース (令和6年3月)

※茨城県、水戸市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町の広域連携事業

# 事業概要【スタートアップ・エコシステム拠点都市推進事業】

推進当初

申請者	茨城県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	643,034千円 (128,526千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>県内ベンチャー企業が事業拡大できる支援体制を強化・構築し、地域経済の好循環が生み出されることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術シーズとニーズ（顧客・社会課題）を結びつけた上での事業化・社会実装</li> <li>・ベンチャー企業の「ミドル」段階意向への成長支援</li> <li>・国内外のスタートアップ・エコシステム拠点との連携促進による新事業展開や新たな投資の呼び込み</li> </ul>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ニーズを捉えた技術シーズの発掘・事業化支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術シーズの発掘、事業化に向けた課題の整理、解決に向けた支援、事業会社との共同研究の推進：25,000千円 [委託費等]</li> <li>・実証試験の実施：11,000千円 [補助費等]</li> </ul> </li> <li>○ベンチャー企業の「ミドル」以降への成長 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外VCなどからの資金調達支援等：29,026千円 [委託費]</li> <li>・ライフサイエンス分野のベンチャー企業を対象にしたプログラム：27,000千円 [委託費]</li> </ul> </li> <li>○国内外のスタートアップ・エコシステム拠点との連携促進による新事業展開、新たな投資の呼び込み 36,500千円 [委託費等]</li> </ul>		 <p>New Yorkでのピッチの様子</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①支援により資金調達1億円を達成した企業 (+10社)</li> <li>②支援企業（つくば創業プラザ分室、海外展開支援、成長プログラム）の雇用者（常勤役員含む）の増 (+52人)</li> <li>③実証実験数実施件数 (+20件)</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/sangi/sougyou_venture3.html">https://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/sangi/sougyou_venture3.html</a></p>
<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>			

# 事業概要【高度IT人材等育成・新事業創出支援事業】

推進当初

申請者	茨城県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	108,849千円 (21,989千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	県内企業による付加価値創出や労働生産性向上に向けた取組の後押しを進め、データ利活用人材の育成や事業展開に向けて必要なスキル人材の育成を通じて、本県の産業活性化を図り地域経済の好循環が生まれることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>1 高度IT人材育成・新事業創出支援事業(16,989千円)</p> <p>・県内企業のうち、新事業創出にあたりデータ利活用に取り組む企業（取り組みたい企業を含む）、データ利活用企業予備軍（社内に蓄積したデータがあるもののデータ利活用まで取り組むことができていない企業）を対象として、データ利活用に係るスキル習得のためのカリキュラムの提供</p> <p>2 中小企業人材育成支援事業（5,000千円）</p> <p>・県内中小企業等を対象に、デジタルスキルに係る資格取得やスキルアップのための研修参加費等を補助し、新分野進出及び新製品の開発等を支援する。</p>	<p>勘や経験に頼った製造の見える化 IoT機器を活用したセンシング</p> <p>× データサイエンス</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品品質の向上や均等化</li> <li>・機器の故障予知</li> </ul> 	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①講座を通じて習得したスキルを用いて事業（課題解決、新事業展開）に取り組んだ企業数（+145社）</p> <p>②講座受講者数（+335人）</p> <p>③高度IT人材育成に係る講座受講者のうち、アソシエートレベル以上のスキルを有すると認定される者の数（+42人）</p>	関連URL	<a href="https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/s-hokorodo/sanjin/index.html">https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/s-hokorodo/sanjin/index.html</a>

# 事業概要【若者かがやき事業】

推進当初

申請者	茨城県日立市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	37,350千円 (8,993千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が主体となったまちづくり、地域課題解決、関係人口創出等に取り組むことができる体制づくり</li> <li>・若者が主体となった取組支援を通じた「かがやく若者」の育成</li> <li>・若者の起業・就業、移住・定住等を広く支援する体制づくり</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ひたち若者かがやき会議」の運営・講座等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者かがやき会議への支援 (補助金) 3,000千円</li> <li>・事務経費 (通信運搬) 53千円</li> </ul> </li> <li>○若者団体等への取組支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出会い等に係る取組支援 (補助金) 3,000千円</li> <li>・まちの形成に係る取組支援 (補助金) 1,500千円</li> </ul> </li> <li>○若者の人材育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザーの設置 (報償費) 1,440千円</li> </ul> </li> </ul>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①本事業で組織する「ひたち若者かがやき会議」(地域課題解決等に取り組む若者)の人数 (関係人口数) (+54人)</li> <li>②本事業で実施する講座・イベント等の参加者数 (+110人)</li> <li>③若者支援コンシェルジュ支援件数 (+120件)</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.city.hitachi.lg.jp/shisei/seisaku_zaisei/1003276/1003280/1003281.html#hyokakaigi-kekka">https://www.city.hitachi.lg.jp/shisei/seisaku_zaisei/1003276/1003280/1003281.html#hyokakaigi-kekka</a></p>

# 事業概要【サイクリングによる地域活性化事業】

推進当初

申請者	茨城県土浦市ほか3自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	101,683千円 (14,204千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前身事業の課題である「地域での消費喚起の促進」「サイクリスト層から一般層へのターゲットの拡大」を解決し、サイクリングを活用した地域の消費額向上による商業振興及び移住・定住の促進を図る。</li> <li>・サイクリングによる健康づくりを推進し、住民の体力向上による健康寿命の延伸や生活習慣病疾の減少を図る。</li> <li>・自転車交通ルールを学習することができる場を設けマナー向上を促すことにより、一層の自転車文化醸成を図る。</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費  ※経費はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域での消費喚起を目的としたサイクリングイベント等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4市合同ライドアラウンド (委託料) 3,334千円</li> <li>・サイクルズ運航事業 (委託料) 1,676千円</li> <li>・散走ツアー (委託料) 240千円</li> </ul> </li> <li>○充実したサイクリング環境を活用した移住・定住の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク移住体験ツアーの開催 (委託料等) 914千円</li> <li>・サイクリングを含めたアクティビティ環境の充実と情報発信 (委託料等) 3,493千円</li> <li>・サイクルプロモーション促進事業 (委託料等) 3,826千円</li> </ul> </li> <li>○サイクリングによる健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康サイクリング、サイクリング啓発事業 (委託料等) 367千円</li> </ul> </li> <li>○自転車に関する交通安全教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども自転車乗り方教室 (委託料) 354千円</li> </ul> </li> </ul>			
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 4市エリアをフィールドとした4市合同サイクリングイベント「ライドアラウンド」消費金額 (+228千円)</li> <li>② 4市エリアをフィールドとした4市合同サイクリングイベント「ライドアラウンド」参加者数 (+228人)</li> <li>③ サイクリスト来訪者数 (+1,448人)</li> <li>④ サクルズ利用者数 (+115人)</li> </ul>		<p>関連URL</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><a href="https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page019258.html">https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page019258.html</a></li> <li><a href="https://www.city.itako.lg.jp/page/dir008978.html">https://www.city.itako.lg.jp/page/dir008978.html</a></li> <li><a href="https://www.city.kasumigaura.lg.jp/page/page015857.html">https://www.city.kasumigaura.lg.jp/page/page015857.html</a></li> <li><a href="https://www.city.namegata.ibaraki.jp/page/dir004825.html">https://www.city.namegata.ibaraki.jp/page/dir004825.html</a></li> </ul>	

※茨城県土浦市、潮来市、かすみがうら市、行方市の広域連携事業

# 事業概要【持続可能な地域づくりに向けた地域資源マネタイズプロジェクト】

推進当初

申請者	茨城県つくば市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	91,267千円(18,843千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的(効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺市街地における「稼ぐ力」の意識改革を行い、地域の賑わい創出と経済の活性化を図る。</li> <li>・多様な人材が地域づくり活動に参画する仕組みをつくる。</li> </ul>		
<b>事業概要・主な経費</b> <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャレンジエリア形成事業(委託料) 4,817千円 コンテストの開催費、受賞者への活動経費助成、チャレンジショップの運営費</li> <li>○稼げる地域づくりの加速化事業(委託料) 4,823千円 (仮称)R8レポートの作成、勉強会の実施、サポート人材の派遣</li> <li>○地域づくりへの多様な人材参画促進事業(委託料) 6,706千円 活動人材を集める制度の設計・運用、活動経費助成</li> <li>○【ハード経費】チャレンジエリア形成事業 2,497千円 活動経費助成(店舗設備経費)(委託料)、チャレンジショップの設備賃借(委託料)、チャレンジショップの設備賃借(委託期間外)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャレンジエリア形成事業</li> <li>○稼げる地域づくりの加速化事業</li> </ul>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域づくりへの多様な人材参画促進事業</li> </ul>  
<b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ネットワーク組織に関連した新規の事業収入 (+23,000千円)</li> <li>②チャレンジショップ入居者及び対象エリアでの開業件数 (+8件)</li> <li>③専門家による自走化の支援件数 (+12件)</li> <li>④コンテストの開催等を通じた地域づくりへの新たな人材の参画者数 (+28人)</li> </ul>	<b>関連URL</b>	(効果検証) <a href="https://www.city.tsukuba.lg.jp/sos/hikikarasagasu/seisakuinnovationbukikakukeieika/gyomuannai/4/3/1004715.html">https://www.city.tsukuba.lg.jp/sos/hikikarasagasu/seisakuinnovationbukikakukeieika/gyomuannai/4/3/1004715.html</a> (交付金の具体的使途・実施体制)調整中

# 事業概要【市民中心のSociety5.0社会推進事業】

推進当初

申請者	茨城県つくば市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事費)	45,220千円(5,647千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	科学分野のヒト（研究者）・コト（研究成果）・モノ（研究機関）が集積する日本最大の研究学園都市を擁する本市の強みをいかし、AI（人工知能）、IoT（Internet of Things）、ビックデータ、ロボティクス等の最先端の未来技術の実証実験→市場調査→市場投入という一連のプロセスを通じた社会実装の支援と、様々なデータ利活用（連携・共有）を推進することで、市民のための課題解決に繋がる新産業・サービスが次々と生まれる新たな社会システムづくりを進める。		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>1 地域課題解決型未来技術実証実験支援 3,647千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 審査会委員及び専門家助言謝礼：412千円</li> <li>② 広報関連経費：784千円</li> <li>③ 審査会運営委託料：275千円</li> <li>④ 実証実験経費支援負担金：5,000千円</li> </ul> <p>※ 但し、①②③の全額と④の1,353千円については交付対象事業費の対象外とし、市財源にて対応する</p> <p>2 市場や市民のニーズ調査支援 2,000千円</p> <p>本市が過去に支援した実証実験を通じて社会実装された製品・サービス等のホームユーステスト負担金：2,000千円</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域課題解決型未来技術実証実験の支援により社会実装（実用化）に至った件数（+8件）</p> <p>②新規創業数（+87件）</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)  <a href="https://www.city.tsukuba.lg.jp/s/oshikarasagasu/seisakuinnovat/ionbukikakukeieika/gyomuannai/4/3/1004715.html">https://www.city.tsukuba.lg.jp/s/oshikarasagasu/seisakuinnovat/ionbukikakukeieika/gyomuannai/4/3/1004715.html</a></p>

# 事業概要【「ウェルカム！こだわりさん。」 ひたちなか市移住・定住促進事業】

推進当初

申請者	茨城県ひたちなか市	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	101,173千円 (26,520千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や事業者と連携しながらプロモーション及び移住・定住促進事業を実施する</li> <li>・特に若い世代を中心とした転入促進・転出抑制に取り組む</li> <li>・市民の自発的な情報発信に繋がるシビックプライド醸成を目的とし、市民参加型の取組や市民の自発的な魅力を発信するイベント・企画を実施する</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マーケティング推進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶公式ホームページ特設サイトの運営 (使用料) : 600千円</li> <li>▶SNSを活用した情報発信 (報償費等) : 585千円</li> <li>▶ファンベースプラットフォームの運営 (委託料等) : 5,675千円</li> <li>▶プロモーション等の実施 (委託料等) : 8,421千円</li> <li>▶シビックプライド醸成事業 (補助金) : 2,630千円</li> <li>▶まちづくり達成度調査業務委託 (委託料) : 3,204千円</li> <li>▶マーケティングに関する専門家等への招聘経費 (報償費) : 600千円</li> </ul> </li> <li>○移住・定住促進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶移住・定住促進窓口の運営</li> <li>▶移住体験ツアーの実施 (委託料) : 589千円</li> <li>▶～TSUNAGARU Hitachinaka～絆構築プロジェクト (委託料) : 4,216千円</li> </ul> </li> </ul>			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①移住世帯数 (+1870世帯)</li> <li>②お試し移住体験者数 (+101人)</li> <li>③首都圏在住者のひたちなか市の認知度 (+2.60%)</li> <li>④本市に誇りや愛着 (シビックプライド) を感じる市民の割合 (+2.60%)</li> </ul>		関連URL <a href="https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/keikaku/1001631/1007610/1001633.html">https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/keikaku/1001631/1007610/1001633.html</a>	

申請者	茨城県守谷市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,304千円 (5,282千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>市の中心に位置する守谷駅東口市有地を多くの市民や市民団体、市内事業者や民間企業などが集まる駅前の拠点とし、人々の賑わいにより創出された魅力がさらに多くの「ひと」と「企業」を呼び込む相乗効果を創出する。この官民連携で創りあげる魅力ある付加価値（ブランド力向上）により、東口市有地は「守谷市の本当の住み良さ」を象徴する場所にする事で、他自治体との差別化を図り、中長期的なU・I・Jターンを促進することを目的とする。</p>		
<p><b>事業概要・主な経費</b></p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○商業施設運営事業者・市で組織する「ランチパーク守谷活性化推進会」が中心となり、賑わい創出のための各種イベントを実施する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント企画・調整・開催（負担金） 3,020千円</li> <li>・広告宣伝費 600千円</li> <li>・その他需用費 200千円</li> </ul> </li> <li>○市民団体、地域団体等が合同企画を検討するための会議運営を行う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議運営委託 330千円</li> </ul> </li> <li>○イベント実施に必要な照明や仮設屋根、防音壁等の環境整備を行う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設屋根、仮設防音壁購入（備品購入費） 500千円</li> <li>・イベント照明購入（備品購入費） 300千円</li> <li>・E棟空調機器増設 200千円</li> </ul> </li> </ul>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>協議会主催イベントの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可動椅子・テーブル</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>オープンスペース施設HP</p> </div>	
<p><b>KPI</b></p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①駅前周辺市街地の人口増（過去3年平均の増加数）（+104人）</li> <li>②市民生活総合支援アプリによるアンケートでの駅前のにぎわいがあると思う市民の割合（+8.50%）</li> <li>③協議会が実施するイベントの集客数（+30,000人）</li> </ul>	<p><b>関連URL</b></p>	<p><a href="https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shisei/keikaku/1004562/1004563/index.html">https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shisei/keikaku/1004562/1004563/index.html</a></p>

申請者	茨城県那珂市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	22,274千円 (4,580千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農畜産物加工の会議体の運営を行い新商品開発</li> <li>・加工品PRのイベント運営による販路開拓</li> <li>・農商工連携の農産加工品開発支援と高品質化支援による農畜産物の高付加価値化、売上向上</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	1 6次産業化推進事業 (1) 新商品開発の会議立ち上げ・運営費 【委託料 3,102千円】 (2) 農産物パウダー試作加工 【委託料 598千円】 2 農商工連携事業 (特産品のカボチャの利用促進) (1) 商品開発及び商談会用試食食材調達 【消耗品費 880千円】		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①本事業における新規就農者数 (+13人) ②本事業による農産物等の売上高 (+35百万円) ③本事業による販路開拓機会の創出による新規取引件数 (+15件)	関連URL	<a href="https://www.city.naka.lg.jp/page/page004107.html">https://www.city.naka.lg.jp/page/page004107.html</a>

# 事業概要【地域資源をフル活用した「みらい型農園事業」】

推進当初

申請者	茨城県つくばみらい市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	34,296千円 (3,187千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	担い手の高齢化や後継者不足等により、農業を支える人材が不足し、基幹産業の農業が衰退しないよう、農業体験事業等を通じた興味関心の促進や農業関係人口の増加、農業関連事業者と連携した農業振興施策、ICT技術を活用した農業経営の確立等を図っていくことにより、農業を主軸とした地域活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○農業体験事業 325千円 (うち申請額216千円) 花育事業や地域資源を活用した農作業や収穫の体験事業を行う。</p> <p>○農業参入等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業参入環境整備事業 3,699千円 (うち申請額2,466千円)</li> <li>・スマート農業推進事業 605千円 (うち申請額400千円)</li> <li>・販路・消費拡大支援事業 122千円 (うち申請額75千円)</li> </ul> <p>○みらい型農業推進協議会 30千円</p> <p>市内の農業を取り巻く状況を踏まえた施策や事業参加者の増加策等について検討を行う。</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①農業参入者数 (+16人)</p> <p>②耕作放棄地解消面積 (+440a)</p> <p>③新規ブランド件数 (+5件)</p> <p>④農業教育事業参加者数 (+115人)</p>	関連URL	調整中

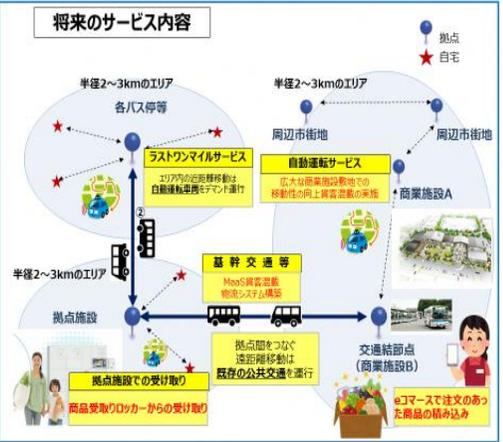
申請者	茨城県境町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	637,603千円 (112,729千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>本町で定常運行している自動運転バスにおいて、町中心部と郊外（交通空白地域）を結ぶ路線を整備すること、また、沿線の商業施設と連携し生活必需品の配送等を行う取り組みにより、「すべての住民が生活の足に困らない町」を実現する。また「自動運転バスの運行」そのものを町の重要なインフラとして活用することで、観光産業及び付随する産業を育成していく。これにより、交流人口の拡大、移住定住の推進、地域経済の活性化、雇用の創出を実現し、あらゆる住民が住み続けられるサステナブルなまちづくりを実現する。</p>		
<b>事業概要・ 主な経費</b>  <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○自動運転バスを活用し、本町郊外に広がる交通空白地域の解消、また生活必需品の配送等により町民の更なる利便性の向上を図る取り組み 108,593千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅近くにバス停がない交通空白地域、路線バス沿線だが町中心部への移動が不便な地域について、町中心部へつなげる路線を整備</li> <li>・各地域同士や、観光拠点、スポーツ施設等をつなげた路線を整備</li> <li>・飲食店、商店等と連携し、沿線住民等の買い物を支援するシステムを導入</li> </ul> <p>○自動運転バスを町の重要な資源として活用する取組み4,136千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動運転バスを目的として訪れる観光客、視察者の積極的な受け入れ</li> <li>・町民のシビックプライド向上に向けた啓発活動、P R品等の作成</li> <li>・サービス提供に必要な技術者や運行・整備技術者などを含む幅広いノウハウを習得できる人材育成・資格制度等の整備</li> </ul>		
<b>KPI</b>  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 宅配サービス、道の駅さかいへの物資発送サービスの利用者数 (+10,800人)</li> <li>② 自動運転バス運行に関する雇用者数 (+23人)</li> <li>③ 連携自治体数及び関係企業数 (+20団体)</li> <li>④ 自動運転バスの乗客数 (+23,000人)</li> </ol>		<p style="text-align: center;">関連URL</p> <p><a href="https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html">https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html</a></p>

全国自治体初公道運行実施中の自動運転バス

申請者	茨城県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	480,302千円 (133,701千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の強みである多種多様な食資源と自然を観光資源として磨き上げ、食体験とアウトドア体験を軸とした稼げる観光の実現</li> <li>・アウトドア資源を活かしたワーケーションの推進による、平日や閑散期の旅行需要の増加</li> <li>・JRグループと協働して取り組む大型キャンペーン (デスティネーションキャンペーン) を最大限に活用したプロモーションの全国展開</li> <li>・これらの取り組みにより、観光消費の拡大とブランド力の向上を図るとともに、関係人口の拡大や移住・定住の促進に繋げていく</li> </ul>		
<b>事業概要・ 主な経費</b> <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茨城の「食」のブランドの確立</li> <li>・「食のプロ」による旅の目的地となる飲食店選定 (11,000千円)</li> <li>・新たな名物料理の開発・販路拡大 (8,550千円)</li> <li>・土産品の開発と販売促進支援 (9,000千円)</li> <li>○稼げるアウトドアの推進</li> <li>・アウトドア資源の活用に向けたビジネスマッチング (12,000千円)</li> <li>・新たなアウトドア体験コンテンツの創出 (15,000千円)</li> <li>○新たな旅のスタイル創出</li> <li>・ワーケーション促進のための需要調査・事例の横展開等 (8,151千円)</li> <li>○魅力発信・誘客促進事業</li> <li>・WEB、SNS広告、インフルエンサー招聘等 (55,000千円)</li> <li>・マーケティング調査、分析 (2,000千円)</li> <li>・クロージングイベントの実施 (13,000千円)</li> </ul>	 <p>食 (あんこう鍋)</p>  <p>アウトドア (ビジネスマッチング)</p>  <p>ワーケーション</p>  <p>茨城デスティネーションキャンペーン</p>	
<b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①開発した土産品の売上 (+300,000千円)</li> <li>②アウトドア事業者と異業種事業者とのビジネスマッチングの件数 (+30件)</li> <li>③体験王国ツーリズムを通じた誘客数 (+6,000人)</li> <li>④ワーケーションにより本県を訪問した企業数 (+60社)</li> </ol>	<b>関連URL</b>	<a href="https://www.ibarakiguide.jp/">https://www.ibarakiguide.jp/</a>

# 事業概要【自動運転の社会実装を見据えたMaaS×eコマース推進事業】

推進当初

申請者	茨城県常陸太田市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	138,238千円 (61,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部地区商業施設内及び周辺地域への移動性の向上と移動エリアが限定される近距離移動に対応することで、公共交通利用利便性の向上と、運転手等の担い手不足の解消を図る。</li> <li>・MaaS×eコマースの活用による、自動運転車両と既存の公共交通とを組み合わせたシステムを構築する。</li> <li>・拠点施設等に商品受け取り用ロッカーを設置し、商業施設と山間部とをシームレスにつなぐ。</li> </ul>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>商業施設内での自動運転サービス及び東部商業施設及びその周辺での、自動運転車両によるラストワンマイル走行の範囲拡大、貨客混載の実証実験の範囲（利用可能店舗、利用者数）を拡大する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ラストワンマイルの範囲拡大調査委託料 14,800千円</li> <li>○MaaS×eコマース等実証実験等委託料 10,000千円</li> <li>○自動運転車両運営に係る委託料 12,600千円</li> <li>○自動運転実装コンソーシアム（仮）の運営委託 8,600千円</li> <li>○貨客混載・拠点整備 15,500千円</li> </ul>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自動運転車両の活用による移動性の満足度 (+26%)</li> <li>②自動運転車両の乗車率 (+14%)</li> <li>③MaaS×eコマースシステムを使用した際の満足 (+26%)</li> <li>④拠点施設における商品受け取りロッカーの利用率 (+20%)</li> </ul> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		
		 <p>スマートフォンからの自動運転車両等予約・交通費支払い、商業施設の商品の注文等を可能にする</p> <p>MaaS×eコマース スマートフォン</p>	 <p>将来のサービス内容</p> <p>半徑2~3kmのエリア 各バス停等 ラストワンマイルサービス エリア内の定時移動は自動運転車両で走行</p> <p>半徑2~3kmのエリア 周辺市街地 自動運転サービス 広大な商業施設敷地での移動性の向上貨客混載の実施</p> <p>半徑2~3kmのエリア 拠点施設 MaaS貨客混載 物流システム構築</p> <p>拠点間をつなぐ遠距離移動は既存の公共交通を運行</p> <p>交通結節点 (商業施設等)</p> <p>eコマースで注文のあった商品の積み込み</p> <p>商品受け取りロッカーからの受け取り</p>
		関連URL	<a href="https://autonomouscar-hitachiota.jp/">https://autonomouscar-hitachiota.jp/</a>

# 事業概要【移動の自由と安心安全で自立した生活を支えるSociety 5.0推進事業】

推進当初

申請者	茨城県つくば市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	420,356千円 (88,854千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	デジタルデバイド (情報格差) の解消、多様な住民への適切な情報発信、移動困難者のウェルビーイング向上及び買い物の利便性向上を図ることで誰もが安心して暮らすことができる、「持続可能な地域社会の実現」を目指す。		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>①デジタルデバイド解消促進事業                  スマホ貸与 (端末料・通信料) : 7,856千円、講座実施費用 : 8,531千円                  スマホアドバイザー・窓口運営費 : 7,040千円、プロジェクト管理費 : 2,200千円</p> <p>②つくば市ポータルアプリ開発・改修                  つくば市ポータルアプリ運用費 : 7,458千円、                  データ連携基盤保守運用費 : 10,962千円</p> <p>③パーソナルモビリティシェアリング                  パーソナルモビリティ運行実証費 : 34,126千円</p> <p>④移動スーパー等ロケーションシステム                  モビリティ情報データ連携委託 : 1,341千円</p> <p>⑤荷物配送ロボット等による買い物の利便性向上                  自動追従型搬送ロボット運用実証費 : 3,000千円</p> <p>⑥アバターロボットを用いた障害者雇用の促進                  障害者雇用促進実証費 : 6,340千円</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①移動スーパー 一か所あたりの月ごと平均利用者数 (+5.0人/月)</p> <p>② (仮称) つくば市ポータルアプリのインストール数 (つくば市の人口に対する割合) (+50,000人)</p> <p>③スマートフォン教室へスマホアドバイザーとして大学生が派遣された人数 (+80人)</p> <p>④分身ロボットを活用した障害者雇用の実施者数 (+5者)</p>		<p>関連 URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証)  <a href="https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikarasagasu/seisakuinnovationbukikakukeieika/gyomuannai/4/3/1004715.html">https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikarasagasu/seisakuinnovationbukikakukeieika/gyomuannai/4/3/1004715.html</a></p>

# 事業概要【地域に開かれたまちづくり事業（道の駅を拠点とした地域ブランディング）】

推進当初

申請者	茨城県五霞町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	17,240千円 (3,620千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	人口減少、少子高齢化に歯止めが利かない中、居住する人口だけでなく、地域外の人々に対しても、地域の担い手としての活躍を促すことは、地域の活力を維持・発展させるために必要不可欠であることから、地域課題及び農業分野における農業者の高齢化・担い手不足など様々な課題を解決するために、地域の担い手確保、さらには、人材育成に努めていく。		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○新たな就農希望者が学べるよう、農業の学びの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物作付けに係る一部作業委託費 60千円</li> <li>・機械のリース料 60千円 ・講師謝礼 30千円</li> <li>・一般事務費（消耗品費・通信運搬費等） 210千円</li> </ul> <p>○地域産品の開発・販路拡大に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発に伴う委託料 400千円</li> <li>・一般事務費（消耗品費・通信運搬費等） 360千円</li> <li>・リース料（トレーラーハウスレンタル料） 1,500千円</li> <li>・備品（オープンレンジ等）購入費 300千円</li> </ul> <p>○地域の担い手育成・確保のためのイベント開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催に係る費用（材料・謝礼等） 500千円</li> <li>・一般事務費（消耗品費・通信運搬費等） 200千円</li> </ul>		 <p>↑ 農業の学びの場の提供</p>
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①本事業による新規就農者数 (+13人)</p> <p>②本事業による新規地域産品の製品数 (+22品)</p> <p>③本事業により産出された地域産品の売上額 (+13,630,000円)</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.goka.lg.jp/gyousei/machizukuri/chihouseisei-kouhukin/suisinkouhukin/page005409.html">https://www.town.goka.lg.jp/gyousei/machizukuri/chihouseisei-kouhukin/suisinkouhukin/page005409.html</a></p>

申請者	茨城県ほか2自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	145,546千円 (58,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的(効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティングやブランディングを重視した観光地経営体制の構築を図る</li> <li>・カジキ釣り国際大会を中心とする総合イベントを発展させ、リゾート地としてのブランド力向上を図る</li> <li>・交通渋滞を改善し、観光客の周遊促進を図る</li> <li>・一体のエリアとしての取組を進め、リゾート地としての知名度向上を図る</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブランディング戦略に基づく地域イメージの定着に向けたプロモーションの実施(委託費)21,000千円</li> <li>○カジキ釣り国際大会を中心とする総合イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの企画・運営等(委託費)10,000千円</li> <li>・外国人選手の招聘等(委託費)10,000千円</li> <li>・カジキを活用したグルメ企画等(委託費)2,000千円</li> </ul> </li> <li>○実証実験の検証結果を踏まえた渋滞対策の実施等(負担金)12,000千円</li> <li>○リゾート地としての知名度向上を図るグルメ企画の実施等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元食材を活用したグルメ企画等(負担金)1,500千円</li> <li>・周遊バスの運行(負担金)1,500千円</li> <li>・協議会事務費(負担金)300千円</li> </ul> </li> </ul>	<p>▼カジキ釣り国際大会を中心とする総合イベント</p>   <p>▼国営ひたち海浜公園のネモフィラ・コキア</p>  	
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ひたちなか大洗リゾート構想に合致する取組に係る新規参入事業者数(+4者)</li> <li>②「IBARAKI INTERNATIONAL FISHING FESTIVAL in Hitachinaka-Oarai Resort」のイベント来場者数(+5,000人)</li> <li>③ひたちなか大洗リゾートインスタグラムアカウントのリーチ数(年間)(+4,500人)</li> </ol>	関連URL	<p>(交付金の具体的用途・実施体制)</p> <p><a href="https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/kikaku/chikei/index.html">https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/kikaku/chikei/index.html</a> (効果検証)</p> <p><a href="https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/k-eikaku/chiho/koukakensyoubukai.html">https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/k-eikaku/chiho/koukakensyoubukai.html</a></p>

# 事業概要【リスクリング推進事業】

推進当初

申請者	茨城県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	155,173千円 (50,250千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の進展や産業構造の急激な変革が見込まれる中、企業人のリスクリングにより、成長産業・分野への円滑な労働移動や生産性向上を実現していく</li> <li>・雇用のミスマッチやスキルギャップに対応するため、企業ニーズを踏まえたスキル向上や習得のための環境整備を進める</li> </ul>		
<b>事業概要・主な経費</b> <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リスクリング推進体制の構築                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官で構成するプラットフォームの運営等 (人件費、事務費等)14,147千円</li> </ul> </li> <li>○リスクリングについての意識啓発・機運醸成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム、ワークショップの開催(委託料)8,437千円</li> <li>・WEBサイトの運営(委託料)4,499千円</li> <li>・リスクリング推進宣言制度、顕彰制度(事務費)481千円</li> </ul> </li> <li>○スキル習得に係る支援策                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIジョブマッチングシステムの運営(委託料)4,956千円</li> <li>・リスクリング講座設置に係る補助(補助金)3,000千円</li> <li>・デジタルスキル習得プログラムの実施、認定(委託料等)14,730千円</li> </ul> </li> </ul>	推進宣言制度の創設・ 先進企業の顕彰 	シンポジウム、ワークショップの開催 
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①企業人のリスクリングに取り組む企業数 (リスクリング推進宣言企業数) (+150社)</li> <li>②企業人のリスクリングに先進的に取り組む企業数 (顕彰企業数) (+30社)</li> <li>③県認定証の保有者数 (+144名)</li> </ul>	関連URL 	AIマッチングシステムの運営  <a href="https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/shokorodo/sanjin/index.html">https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/shokorodo/sanjin/index.html</a> <a href="https://ibaraki-rs.jp/">https://ibaraki-rs.jp/</a>

# 事業概要【日立駅前地区再活性化事業】

推進当初

申請者	茨城県日立市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	164,723千円 (46,240千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携した駅前地区における交流機能の更なる強化</li> <li>・日立駅前地区への誘客促進、まちのにぎわい創出</li> <li>・日立駅前地区の活性化を担う人材の発掘と育成</li> <li>・地域資源等を活用した新商品、サービスの開発</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○誘客促進、まちのにぎわい創出                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・日立駅前地区の活性化プロモーション (補助金) 40,000千円</li> </ul> </li> <li>○日立駅前地区の活性化を担う人材の発掘と育成                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・活性化コーディネーター (人件費) 6,240千円</li> </ul> </li> </ul>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①日立駅前地区の公共施設利用者数 (+60万人)</li> <li>②日立駅前地区への新規出店件数 (+40件)</li> <li>③地域資源を活用した新商品・サービス等の開発 (+3件)</li> </ul>		関連URL <a href="https://www.city.hitachi.lg.jp/shisei/seisaku_zaisei/1003276/1003280/1003281.html#hyokakaigi-kekka">https://www.city.hitachi.lg.jp/shisei/seisaku_zaisei/1003276/1003280/1003281.html#hyokakaigi-kekka</a>

# 事業概要【古河市賑わい創出プロジェクト】

推進当初

申請者	茨城県古河市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	376,400千円 (130,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	令和4年度に古河市観光協会が一般社団法人化したことを契機とし、各種祭りや観光資源のPRの拡充と既存の観光資源の再整備に着手し、市の観光振興の推進、総合戦略で掲げる地域産業の魅力を活かした“呼び込む力”の強化を進め、民間消費の向上を目指す。		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市全体を活性化させるためのイベント事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベント開催補助：10,000千円</li> <li>・観光協会運営費補助：22,500千円</li> </ul> </li> <li>○道の駅まくらがの里こが 活性化事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・新メニュー開発：1,000千円</li> </ul> </li> <li>○古河公方公園活性化事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・花桃植栽委託：4,000千円</li> <li>・湿性植物植栽委託：8,000千円</li> </ul> </li> <li>○ネーブルパーク活性化事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャビンエリアリノベーションプロデュース委託：21,200千円</li> </ul> </li> <li>○古河公方公園整備事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・園路整備：10,600千円</li> <li>・トイレ洋式化：3,000千円</li> <li>・湿性植物園整備：5,000千円</li> </ul> </li> <li>○ネーブルパーク整備事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャビンリノベーション整備：30,800千円</li> <li>・トイレ洋式化：13,900千円</li> </ul> </li> </ul>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①茨城県観光客動態調査における古河市の観光入込客数 (年間) (+380千人) ②民間消費支出流出入率 (+6%) ③道の駅まくらがの里こがの売上額 (+12.1千万円)		関連URL  (交付金の具体的使途・実施体制) <a href="https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/soshiki/kikaku/27/14423.html">https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/soshiki/kikaku/27/14423.html</a> (効果検証) 令和6年9月公表予定



【ネーブルパーク】



【道の駅まくらがの里こが】



【古河公方公園】

申請者	茨城県古河市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	32,000千円 (12,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商社事業の展開により、地元農産品や加工品の販路拡大を図る</li> <li>・地域経済の活性化、事業者の収益性向上を図る</li> <li>・古河市産品の魅力を全国にアピールし、観光・物販施設への来訪者を呼び込むことで交流人口の拡大を図る</li> <li>・各施設の回遊性を高めた新たな観光ルートの構築により、地域活性化を図る</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	1. 地域商社事業のスタートアップ支援 ①スタートアップ支援コンサルティング 4,000千円 事業進捗管理、経営戦略の見直し 2. 地域資源の磨き上げ、魅力発信事業 ①新たな地域産品の開発 2,000千円 「古河ブランド」認証商品の開発支援 ②地域産品の魅力発信 6,000千円 プロモーション、商談、トップセールス	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>地域資源</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #e6f2ff;">地域商社</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ふるさと納税</p>  <p>観光施設での販売</p>  </div> </div>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①地域商社事業の売上高 (+75,000千円) ②市ふるさと納税事業における地域商社事業の占めるシェア (売上高ベース) (+10.67%) ③地域商社事業と連携する事業者数 (+75社) ④地域商社事業で新規開発した商品数 (+10件)	関連URL	(交付金の具体的用途・実施体制) <a href="https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/soshiki/kikaku/24/7868.htm">https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/soshiki/kikaku/24/7868.htm</a> ↓ (効果検証) 令和6年9月公表予定

申請者	茨城県つくば市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	32,871千円 (11,157千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	① 地域内連携による「科学技術の街つくば」を感じる機会を創出する。 ② デジタルを活用した市内小中学校でのSTEAM教育の展開を推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①官民連携による「科学技術の街つくば」を感じる機会創出 合計：2,877千円 【積算内訳】 筑波大BHE事業負担金：1,300千円 研究者謝礼：80千円 ターゲティング広告 (SNS広告) 配信料：1,000千円 印刷製本費 497千円  ②デジタルを活用した市内小中学校でのSTEAM教育の展開 合計：8,280千円 【積算内訳】 運営委託料：6,700千円 (小規模校1校、中規模校3校、大規模校2校) 研究者謝礼：1,580千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①問題や課題を自分の力で解決しようとする児童・生徒の割合 (+1.9%) ②科学技術関連イベント情報ホームページの平均月間閲覧数 (+450回) ③STEAM教育授業の受講人数 (+2,070人)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) <a href="https://www.city.tsukuba.lg.jp/s/oshikikarasagasu/seisakuinnovat/ionbukikakukeieika/gyomuannai/4/3/1004715.html">https://www.city.tsukuba.lg.jp/s/oshikikarasagasu/seisakuinnovat/ionbukikakukeieika/gyomuannai/4/3/1004715.html</a>

# 事業概要【御前山ダム周辺活性化事業】

推進当初

申請者	茨城県常陸大宮市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	147,188千円 (47,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に湖面利用が可能となった御前山ダムを核として、観光誘客促進や関係人口の創出を図る</li> <li>・農業用ダムの特色を活かした農業体験を通して、学びの場としての活用や就農による移住促進を図る</li> <li>・御前山エリアのランドデザインを策定し、エリアのブランドを確立することで認知度向上を図る</li> <li>・駐車場等の設備を備えた新たなカヌー発着所を整備し、利便性向上やツアー造成の促進を図る</li> </ul>		
<b>事業概要・ 主な経費</b> <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○御前山ダムでのカヌー、SUP、ボート体験イベントのインストラクター業務や参加者受付、御前山エリアのポータルサイトの運営</li> <li>・カヌーイベント及びポータルサイトの運営 (委託料) 9,773千円</li> <li>○子育て世代向けのPRや、農業を活かしたプロモーションの検討</li> <li>・御前山周辺プロモーション (委託料) 8,462千円</li> <li>○御前山エリアのブランドを確立するためのアウトドアランドデザインの策定</li> <li>・アウトドアランドデザイン策定 (委託料) 9,900千円</li> <li>○駐車場等の設備を備えた新たなカヌー発着所のスロープ部分の整備</li> <li>・カヌー発着所整備 (工事費) 11,590千円</li> </ul>		
<b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①御前山地域への観光入込客数 (+6,500人)</li> <li>②移住促進ツアー参加者数 (+80人)</li> <li>③ツアーの造成数 (+6件)</li> </ul>	<b>関連URL</b>	<a href="https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/kurashi_gyousei/gyousei/plan/sougou_keikaku/sousei/page008167.html">https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/kurashi_gyousei/gyousei/plan/sougou_keikaku/sousei/page008167.html</a>

# 事業概要【桜川市移住・定住支援事業】

推進当初

申請者	茨城県桜川市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	7,268千円 (1,877千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住・定住支援情報の発信とプロモーションを強化し、市外からの関心を高める。</li> <li>・移住相談窓口の機能を強化し、移住希望者のニーズに広く答えることのできるサポート体制の構築を図る。</li> <li>・移住体験プログラムやお試し居住施設を整備・活用し、移住のきっかけづくりを図る。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○桜川市の魅力の発信</li> <li>・移住ポータルサイトにおける情報発信 (使用料) 297千円</li> <li>・ふるさと回帰支援センター等を活用した東京圏での情報発信 (負担金) 50千円</li> <li>・移住パンフレット制作費 (需用費) 99千円</li> <li>・移住フェア等出展料 (使用料) 550千円</li> <li>○移住相談窓口の開設運営 (移住体験)、移住者等の受入れ・サポート体制の検討</li> <li>・アドバイザー招聘費 (報償費) 100千円</li> <li>・体験プログラム実施費500千円</li> <li>・移住窓口拠点の開設に係る費用 281千円</li> </ul>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①移住相談窓口における相談件数 (+120件)</li> <li>②移住相談会等での相談件数 (+45件)</li> <li>③移住相談窓口を通じた転入件数 (+12件)</li> <li>④お試し居住施設利用件数 (+3件)</li> </ul>		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) <a href="https://www.city.sakuragawa.lg.jp/ijyu_teijyu/">https://www.city.sakuragawa.lg.jp/ijyu_teijyu/</a> (効果検証) <a href="https://www.city.sakuragawa.lg.jp/shisei/sousei/">https://www.city.sakuragawa.lg.jp/shisei/sousei/</a>

# 事業概要【河岸の街さかい復興プロジェクト～境町ブランドアップ推進事業～】

推進当初

申請者	茨城県境町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	252,517千円 (80,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<p>本町の地域の活力を維持していくには、増加が見込まれるインバウンドをはじめとする交流人口の更なる拡大を図っていく必要があるが、インバウンド向けの対応や本町全体をつなぐブランディングが不足している状況にあり、そうした交流人口がもたらす経済活動による恩恵を最大限受けられない状況にある。本事業で「境町ブランド」の確立に向けた取り組みを積極的に行うことで、主にインバウンドを中心とした新たな交流人口に選ばれるまちづくりを推進し、その経済活動等を着実に取り込み、地域の活力を維持していく。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○境町特産品開発・ブラッシュアップ事業 57,200千円 「境町ブランド」としてPR可能な「食」「お土産」の開発・磨き上げを行う。 ・古くから生産されている「さし茶」・新たな特産品である「干し芋」 ・利根川にちなんだ特産品 (ウナギなどの川魚グルメ、利根川源泉を活用した飲料品)</p> <p>○境町ブランドアップ推進事業 23,000千円 地元まちづくり企業およびブランディングに精通した専門家等と連携し、本町のイメージづくりや、インバウンドを含む幅広い層への認知度向上に取り組む。</p>	 <p>境町の観光拠点「道の駅さかい」</p>	
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①訪日外国人滞在者数 (+75,000人) ②特産品の販売金額 (+50,000千円) ③利根川大花火大会の来場者数 (+150,000人)</p>	<p>関連URL</p>	<p><a href="https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html">https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html</a></p>

# 事業概要【稼げるインバウンド茨城・誘客促進事業】

推進当初

申請者	茨城県、石岡市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	549,723千円 (191,241千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の特性を踏まえた観光コンテンツの磨き上げや魅力ある旅行商品の造成促進などに加え、誘客活動を戦略的に展開し、運輸業や宿泊業、飲食業等、幅広い産業への経済波及効果を狙う</li> <li>・官民一体となったサービス・質の向上を通じた観光消費単価の増加や周遊の促進、また、農業・輸出分野と連携したインバウンドとアウトバウンドの好循環を創出させ自立的に稼げる観光地域づくりを目指す</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンテンツの高付加価値化に向けた新規コンテンツ造成 (委託料) 77,410千円                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の地域資源を活かした新規コンテンツの造成等</li> <li>・歴史・文化的コンテンツの造成、企画展・イベント開催等</li> </ul> </li> <li>○富裕層を対象とした販売促進・プロモーション (委託料) 90,054千円                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市場の特性に合わせたプロモーション等</li> <li>・旅行博への出展や商談会、ファムトリップ、メディア向けセミナー等</li> <li>・本県歴史・文化の紹介動画等によるプロモーション</li> </ul> </li> <li>○観光地経営に向けた調査・分析 (委託料) 8,800千円                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人旅行者の動向分析等</li> </ul> </li> <li>○富裕層を含む中長期滞在の訪日外国人等を対象としたサポート体制の構築 (委託料) 14,977千円                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・「IBARAKIネイティブコミュニケーションサポーター」の認定、研修、相談対応等</li> </ul> </li> </ul>		 <p>韓国からのゴルフツアー</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額 (+22.5億円)</li> <li>②1人1回当たり訪日外国人旅行消費単価 (+18,750円)</li> <li>③外国人延べ宿泊者数 (+126,000人泊)</li> </ul>		関連URL <a href="https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukai.html">https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukai.html</a>	

# 事業概要【デジタル技術を活用した移住促進事業】

推進当初

申請者	茨城県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	240,224千円 (81,124千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外の人々が本県の暮らしや地域の人々の魅力を知り、ファンになる仕組みの構築を図る</li> <li>・本県の魅力を継続的かつ効果的に浸透させていくことにより、本県へのさらなる移住促進を図る。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○オンラインコミュニティの構築・運営 (委託料) 14,800千円 ・システム構築のための開発・運用・改修等</p> <p>○オンラインコミュニティへの参加者の確保 (委託料等) 23,485千円 ・コミュニティ参加促進イベントの企画運営等</p> <p>○オンラインコミュニティ活性化のための話題創発 (委託料) 42,839千円 ・コミュニティマネージャーの育成 ・コミュニティ内の話題の充実・多様化のためのプログラムの企画運営 ・県北地域における話題提供を行うコミュニティの造成</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域へのUIターン数 (+790人)</p> <p>②オンラインコミュニティ参加者数 (+2,750人)</p> <p>③オンラインコミュニティをきっかけに本県を来訪等した人数 (+110人)</p>		
	関連URL	<a href="https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukai.html">https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukai.html</a>	

# 事業概要【「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」推進事業】

推進当初

申請者	茨城県龍ヶ崎市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	100,161千円 (20,161千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優位性や独自性を発揮できるスポーツクライミングを軸に、市の認知度向上やシビックプライドの醸成を図る</li> <li>・日本、世界規模の大会招致等を通じてにぎわいを創出し、若者世代を中心とした交流人口の増加、移住・定住促進を図る</li> <li>・人口減少を克服し、将来にわたって成長力を確保していくことで、活力ある持続的な発展を目指す</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○戦略策定に向けた審議会の運営支援及び協議会の構築推進：940千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略策定に向けた審議会運営に係る資料提供等側面支援</li> <li>・2年目以降の事業推進の主体となる官民連携の協議会を設置</li> </ul> <p>○3C調査及び分析：5,950千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップ選手へのヒアリング等を通じた市場分析</li> <li>・近隣地域の動向や政策間連携に係る先進事例調査等競合分析</li> <li>・ステークホルダー等連携可能な地域資源調査</li> </ul> <p>○「スポーツクライミングのまち」実現に向けた戦略策定：7,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像、基本方針、施策体系、アクションプラン等をまとめた「基本構想」を策定</li> </ul> <p>○キックオフイベント開催：5,471千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップクライマーによるデモンストレーションや体験会等を組み込んだイベント開催、情報発信、プロモーションの実施</li> </ul>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域の人口・世帯数 (▲580人)</li> <li>②スポーツイベントの参加者数 (+1,500人)</li> <li>③龍ヶ崎市総合体育館 (たつのごアリーナ) に設置しているボルダリングウォールの利用者数 (+900人)</li> <li>④事業に参画する団体数 (+30団体)</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)調整中</p>

# 事業概要【常総市AIまちづくり推進プロジェクト】

推進当初

申請者	茨城県常総市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	96,525千円 (19,395千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>AIなどの先端技術を活用した新たな産業と雇用の機会を創出することで、若年層を中心とした生産年齢人口の還流を促進し、魅力と活力あるまちづくりを推進するとともに、市内の小中高生に対しAI教育の機会を提供することにより、将来のAI人材を育成し、本取組により集積した先端技術を活用する企業等の雇用需要を満たし、持続可能なまちを実現する。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「常総AIまちづくりコンソーシアム」の運営管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント時の専門家・講師招聘費 300千円</li> <li>・コンソーシアム運営事務に係る需用費 150千円</li> <li>・コンソーシアム運営支援委託料 2,500千円</li> </ul> </li> <li>○将来のAI人材育成のため、市内小中学生へのキャリア教育やAIリテラシー教育、プログラミング教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・AI教育支援委託料 8,000千円</li> </ul> </li> <li>○多くの方にAIに親しみを持つ場を提供するため、市所有の自然体験施設「あすなろの里」における、AIモビリティの体験搭乗などのAI体験プログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIモビリティ体験実施に係る人件費 3,205千円</li> <li>・AIモビリティ体験運営に係る需用費 240千円</li> <li>・園内におけるAIモビリティ走路等環境整備工事 5,000千円</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>常総市AIまちづくり10年構想</b></p> <p>新たな産業と雇用を創出し、魅力・活力のあるまちへ</p> <p>Phase 01 市民がAIに親しみを持つ</p> <p>Phase 02 市民がAIを積極的に活用する</p> <p>Phase 03 市民がAIをつくる</p> <p>2023年 2027年 2030年 2032年</p>	
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における新規雇用者数 (+42人)</li> <li>②AI等の先端技術を活用した地域課題解決プロジェクトの新規実施件数 (+5件)</li> <li>③AI教育に取組む市内小中学校数 (+17校)</li> <li>④あすなろの里でのAI体験プログラム参加者数 (+2,500人)</li> </ul> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	<p>常総市まち・ひと・しごと創生の取組</p> <p><a href="https://www.city.joso.lg.jp/kurashi_gyousei/shisei/seisaku/comprehensive_plan/machi_hito_shigoto/">https://www.city.joso.lg.jp/kurashi_gyousei/shisei/seisaku/comprehensive_plan/machi_hito_shigoto/</a></p>

# 事業概要【新たなコミュニティによる関係人口創出事業】

推進当初

申請者	茨城県高萩市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	6,732千円 (2,244千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな人の流れが生まれる仕組みをつくり、関係人口の拡大を図る。</li> <li>・将来的な移住者の拡大を目指すため、就業に居住地が影響しない職業の方向けにターゲットを絞って取り組む。</li> <li>・本事業の参加者と、市内各地域で行われている伝統的な行事との関係性を構築し、地域との関りを深める。</li> <li>・市内各地域行事運営の支援者を拡大し、地域行事の伝承を図る。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新たなコミュニティと地域住民との協働活動事業                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係人口創出事業 (委託料) 2,002千円</li> </ul> </li> <li>○移住検討者支援事業                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・高萩起業塾オンライン配信に伴う環境整備委託 (委託料) 242千円</li> </ul> </li> </ul>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域へのUIターン数 (+30人)</li> <li>②コミュニティによる地域との協働事業の回数 (+9回)</li> <li>③高萩起業塾のオンライン受講者数 (+12件)</li> </ul>		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) <a href="https://www.city.takahagi.ibaraki.jp/gyousei/news/page006897.html">https://www.city.takahagi.ibaraki.jp/gyousei/news/page006897.html</a>

# 事業概要【インナープロモーション推進プロジェクト】

推進当初

申請者	茨城県守谷市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,732千円 (14,877千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	当市のシティプロモーションは市外からの移住推進等を主目的としたアウトプロモーションではなく、市民一人ひとりの市に対する愛着形成や当市に住んでからの関わりを深めていくためのインナープロモーションを中心に推進しており、将来的にまちを発展させていく「担い手」を作ることを最終目的としている。本事業はこのインナープロモーションの取組みを加速化させ、将来的なまちの「担い手」育成に繋げていくことを目的とする。		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シティプロモーション推進事業 市民による魅力情報発信制度の構築、イメージキャラクターを活用した魅力発信、新シティプロモーション戦略プランの策定 ・絵本製作業務委託 (委託費) 1,161千円 ・シティプロモーションアドバイザー謝金 (報償費) 1,848千円</li> <li>○文化財保護事業 指定文化財のデジタルアーカイブ化及び文化財を活用したロゲイニングイベントの実施 ・撮影や画像加工及びデジタル公開に関する費用 (委託費) 5,116千円</li> <li>○アントレプレナーシップ教育推進事業 学生向けの起業家教育×地域課題プログラムの実施 ・アントレプレナーシップ教育プログラム業務委託 (委託料) 995千円</li> </ul>	 <p>守谷市イメージキャラクター こじゅまる</p>	 <p>デジタルアーカイブ化の公開 HPの仮想トップページ</p>
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の人口・世帯数 (+450人)</li> <li>②市民記者が発信する専用SNSアカウントのフォロワー数 (+1,000人)</li> <li>③デジタルアーカイブ「わたしたちの守谷」の年間ページビュー数 (+72,000PV)</li> <li>④アントレプレナーシップ教育プログラムの受講者累計数 (+60人)</li> </ul>	関連URL	<a href="https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shikumi/project/matihitosigoto/index.html">https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shikumi/project/matihitosigoto/index.html</a>

申請者	茨城県那珂市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	80,189千円 (20,082千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の生産、販売、流通のデジタル化による生産流通システムの体制整備を図る。</li> <li>・統一的なブランドコンセプトを作成することによる一貫した農産物の周知による需要喚起を図る。</li> <li>・生産流通システムの体制整備及び農産物のブランド化事業を推進することで、那珂市の持続可能な魅力ある産業振興の好循環を目指す。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	1 デジタル技術を活用した市場ニーズ把握 (1) 販売予測AI導入 (委託料) 6,900千円 2 デジタル生育管理システムの導入 (1) AIほ場管理システム (委託料) 768千円 (2) 管理ほ場借上 (借上料) 20千円 (3) システム導入研修 (委託料) 500千円 3 現場ニーズ把握のワークショップ・イベント (1) ワorkshop運営委託 (委託料) 6,716千円 (2) 専門家派遣費 (報償費) 630千円 (3) 市場調査イベント運営 (委託料) 2,200千円 (4) ホームページ作成 (委託料) 1,799千円 (5) 誘導ツール作成 (印刷製本費・備品購入費) 549千円		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①地域における農林水産出荷額 (+ 12,400千円) ②デジタル技術導入経営体数 (+ 35経営体) ③デジタル技術導入した経営体あたりの増加経営面積 (+ 30a)	関連URL	<a href="https://www.city.naka.lg.jp/page/page004107.html">https://www.city.naka.lg.jp/page/page004107.html</a>

# 事業概要【つくばみらい市100年間愛される地元創生プロジェクト】

推進当初

申請者	茨城県つくばみらい市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	60,420千円 (20,420千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	当市のシティプロモーション事業として、つくばエクスプレス開業により増加した新たな住民と、旧来在住の住民とのふれあいや交流の促進、地域への愛着の醸成や、市が従来持つ魅力的な資源等を効果的に活用しながら、更なる移住定住や、就労促進の一助となるような取組を積極的にPRすることにより、「100年間愛される地元になるまち」を目指す。		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○【アート制作体験 (WS) 事業】 6,000千円 ・子ども向けのアートワークショップ、市民全体向けの制作事業などを実施</li> <li>○アート事業【企画構成支援事業】 6,000千円 ・どのように実施するのか専門的知見を受ける</li> <li>○米PR事業 8,420千円 ・米・食味分析鑑定コンクール国際大会のプレ大会の開催</li> </ul>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の人口・世帯数 (+450人)</li> <li>②アート事業実施により「市に愛着が沸いた」市民の割合 (+70%)</li> <li>③市内農家が米コンテストへ出品する数 (+60件)</li> <li>④ゴルフ場への職業体験を実施した市内学生 (市内小中学生・高校生) の人数 (+7人)</li> </ul>		

申請者	茨城県大子町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	24,750千円 (11,330千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の空き家等を活用したビジネスを創出し、その歴史や文化を維持するとともに、新たな産業と雇用の創出を図る。</li> <li>・若者の定着や地方回帰を促し、観光及び商業の中心地として持続する商店街を目指す。</li> <li>・町内観光スポットと商店街との新たな人の流れを創出し、観光消費額の増加を図る。</li> <li>・人流データ等を活用し、EBPMを推進する。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○商店街のにぎわい創出を通じた町内全域の活性化を見据えた戦略の策定</li> <li>・戦略の策定 (委託料) 9,594千円</li> <li>・戦略を実行する推進体制の構築準備 (委託料) 1,406千円</li> <li>○本事業の効果を的確に測定し、当町におけるEBPMを推進するための人流分析システムの導入</li> <li>・人流分析システム使用料 (使用料) 330千円</li> </ul>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額 (+281,344千円)</li> <li>②駅前商店街と袋田の滝との観光周遊数 (+18,860人)</li> <li>③駅前商店街への来客数 (+143,027人)</li> <li>④駅前商店街において、空き家等を活用して創出されたビジネスの数 (事業承継を含む。) (+2件)</li> </ul>		関連URL 調整中

# 地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

# 事業概要【芸術的資源による拠点再生事業】

拠点当初

申請者	茨城県笠間市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R6年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	380,446千円 (228,268千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	地域の中心となる笠間芸術の森公園内の笠間工芸の丘を、既存の地域にはない観点である「食×芸術×体験」をテーマとした新たな拠点として再生し、来訪者の拡大と地域経済への好影響をもたらす観光都市のリブランディングを図る。		
整備内容・ 利活用方策  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>笠間産材を活用した食事とデザートを提供するカフェレストランを新設し、「笠間の食」を楽しむ拠点とすることや、本市の人間国宝である笠間焼作家松井康成の展示室のリニューアルに加えて、日本芸術院会員であり日本を代表する郷土の彫刻家である能島征二氏の作品展示室を新設し、笠間焼だけではなく芸術のまちとしてのランドマーク機能の向上につなげる。</p> <p>○施設整備等（飲食施設、作品展示施設、笠間焼販売施設）の内容</p> <p>【建築物本体工事】建築工事費 102,428千円</p> <p>【建築物と不可分な設備工事】電気設備工事費 63,710千円、 機械設備工事費 62,130千円</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①来場者数（+82,700人）</p> <p>②観光客一人当たり平均消費額（+1.06千円）</p> <p>③物販・企画展示・レストラン売上額（+71,329千円）</p> <p>④県外からの来訪者率（+8.00%）</p>		<p>関連URL</p> <p>笠間工芸の丘 <a href="https://www.kasama-crafthills.co.jp">https://www.kasama-crafthills.co.jp</a></p>

# 事業概要【観光交流施設整備によるにぎわい創出事業】

拠点当初

申請者	茨城県大子町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,164,976千円 (30,000千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	観光分野
目的 (効果)	課題として、人口減少 (2050年に▲60%) 及び観光客減少により、消費販売額等が▲50%以上 (20年前比) となっている。対策として、防災道の駅の機能拡張及び受入体制の強化により、地域特性を活かした賑わいの創出を図る。		
整備内容・ 利活用方策 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>防災道の駅の拡張として観光交流施設を建築し、アウトドアブランドとの連携による地域特性 (県内最高峰の山、一級河川、サイクルツーリズム等) を活かしたアウトドアアクティビティの創出・促進や、地域資源・特産品の販路拡大を図る。</p> <p>また、チャットボット等で一部の行政サービスを提供すること、町内で運行しているAIタクシーの発着点に指定することなどにより、来客の利便性向上を図る。</p> <p>○効果促進事業 (ハード事業) の内容 用地造成工事 30,000千円</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額 (+ 351,680千円)</li> <li>②主要な観光スポットにおける観光客数 (+ 96,396人)</li> <li>③主要な観光スポットにおける周遊客数 (+ 76,571人)</li> <li>④道の駅 (既存含む) における新規雇用者数 (+ 14人)</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>

# 地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

# 事業概要【植物園等魅力向上対策事業】

拠点補正

申請者	茨城県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	2,999,563千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	整備後40年以上が経過した茨城県植物園及び茨城県民の森について、元々の自然や植物が持つ非日常性のポテンシャルを最大化するようリニューアルし、新たな時間消費・コト消費を提供する施設として、また茨城県央地域の一大観光拠点として、首都圏など広域的な利用者の獲得と新規顧客層の取り込みを図ることで、地域の魅力向上と、利用者増加による地域の活性化を図り、地方創生の実現を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>「緑に遊び、緑に包まれて眠る、日本初の泊まれる体験型植物園」をコンセプトとして、既存施設のほか園内に宿泊施設や飲食施設、温浴施設等を新築するほか、森の中でのARシューティングをはじめとした自然を活かしたアクティビティなどの自然に触れて学ぶことができるコンテンツを整備し、県内外の多様なニーズに応えらるとともに利用者の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備（宿泊施設、温浴施設ほか） 2,271,962千円</li> <li>・野外施設（アクティビティ施設ほか） 693,765千円</li> <li>・ソフト事業整備（デジタルアクティビティほか） 33,836千円</li> </ul>	 <p>整備イメージ</p>	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額（+630億円）</li> <li>②施設の売上額（+838,340千円）</li> <li>③植物園、県民の森の施設利用者数（+65,835人）</li> <li>④延べ宿泊者数（+23,000人）</li> </ul>	関連URL	<a href="https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukai.html">https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukai.html</a>

# 事業概要【坂東地域活性化拠点整備事業(仮称)坂東市産業経済交流施設】

拠点補正

申請者	茨城県坂東市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	230,961千円
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ(補正予算分)	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	利根川を跨ぐ下総利根大橋の袂に、農産物直売所・観光情報コーナー・サイクルステーション等を備える(仮称)坂東市産業経済交流施設を整備し、地域で生産した高品質な農産物の提供や、観光客・サイクリストに対する地域の魅力発信等により集客することを通じ、地域産業や地域間交流の活性化を図り、農家の担い手不足解消や地域経済の活力の底上げを目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>小規模農家・新規就農者が参入しやすい販路提供の場や、観光客やサイクリストの市内周遊の発着拠点として整備するものである。</p> <p>地元関係者(農家、商工業者、学生)との交流や各種イベント等をSNSを用いて幅広く周知するとともに、デジタルサイネージやPOSシステム等のデジタル技術を活かした魅力発信と効率的な運営により、売上向上を図る。</p> <p>○施設整備等(設備整備・用地造成を除く)の内容  <b>【建築物本体工事】104,430千円</b>  <b>【建築物と不可分な設備工事】電気設備30,046千円 機械設備25,349千円 設備監理費 1,848千円</b></p> <p>○効果促進事業(ハード事業)の内容  <b>【外構解体工事】16,885千円 【外構整備工事】50,451千円</b></p> <p>○効果促進事業(ソフト事業)の内容  <b>【Wi-Fi及びデジタルサイネージ設置工事】1,952千円</b></p>		
KPI	<p>①地域における農林水産出荷額(+70,087千円)</p> <p>②新規就農者数(+6人)</p> <p>③農産物直売所売上額(+87,610千円)</p> <p>④年間来場者数(+75,006人)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・効果検証)</p> <p><a href="https://www.city.bando.lg.jp/page/page010226.html">https://www.city.bando.lg.jp/page/page010226.html</a></p>

※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【息栖神社周辺拠点施設整備】

拠点補正

申請者	茨城県神栖市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	629,684千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	東国三社のひとつである息栖神社を市のにぎわいを創出する核となる場所として位置づけ、神社周辺の整備と併せて新たな拠点施設を整備し、市の特産品や観光情報などの魅力を発信することにより、交流・関係人口の拡大を市内全域へと波及させ、地域全体の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	<p>物販施設や飲食施設において、特産品の販売や地元の食材を活用したメニューを開発・提供することにより、市のブランド創出・向上や地域消費額の増加、製造者の所得向上を図る。</p> <p>また、情報発信スペースにおいてデジタルサイネージ等のデジタル技術を活用し、他の観光拠点や季節のイベントなど市の魅力を随時発信することで、市内への周遊や繰り返しの来訪を促進する。</p> <p>【息栖神社周辺拠点施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備費：618,684千円</li> </ul> <p>【外構工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内舗装、フェンス等整備費：11,000千円</li> </ul>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額（+133,320千円）</li> <li>②息栖神社周辺滞在時間（+50分）</li> <li>③周遊促進効果（+75,000人）</li> <li>④拠点施設の来訪者数（+142,000人）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.city.kamisui.baraki.jp/shisei/plan_policy/1010322/index.html">https://www.city.kamisui.baraki.jp/shisei/plan_policy/1010322/index.html</a></p>

申請者	茨城県境町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	399,911千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>ビッグエアの世界大会が開催可能な国内初の本件施設を整備し運営することにより、施設の利用者、大会や合宿への参加者など様々な交流人口が継続的に来町するほか、この人流を生かす施策、具体的には地方創生関係交付金を活用し整備した施設を含む飲食店や土産物店など施設周辺の商業施設での消費活動を喚起する施策の展開を図ることで、地域経済の活性化に寄与する。さらに、高水準の本件施設を継続的に利用したいと考える移住検討者に対し本町のソフト・ハード両面にわたり充実している移住定住施策を併せてPRしていくことで確実に移住者としていくことで、本町の安定的な成長につなげていく。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>全国初の、(公財)全日本スキー連盟公式大会等が開催可能な滑走ブラシ及びエアーマットを整備するとともに、ビッグエア利用者の利便性を高めるため、受付、トイレ、休憩室、更衣室等を備えたクラブハウスを整備する。</p> <p>また、新スマート物流によるデリバリーを活用したケータリングに加え、自動運転バスやシェアカー、シェアサイクル等を活用したシームレスな移動が可能となるよう整備を推進することで、周辺施設と連携した地域活性化につなげる。</p> <p>※国内にはビッグエアの練習用の類似施設はあるものの、世界大会が開催可能な施設は現時点でなく、本件施設は国内初である。</p> <p>・滑走ブラシ ・エアーマット ・照明施設 ・散水設備                  ・スタートゲート及びスタート塔 ・クラブハウス</p>		 <p>ビッグエアフィールド（イメージ図）</p>
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の人口・世帯数（+200人）                  ②本件施設の利用者数（+20,060人）                  ③本件施設整備による交流人口の増加数（+2,550人）                  ④施設来場者等の飲食消費額（+14,695千円）</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html">https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html</a></p>

# 事業概要

## 【 河岸の街さかい復興プロジェクト

～(仮称)「利根川・境町の水」を活用した特産品開発拠点施設整備事業～】

拠点補正

申請者	茨城県境町	採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	398,902千円	
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野	
目的（効果）	<p>本件施設の整備により、新たな商品の開発生産販売により水と組み合わせる商品（さしま茶）などの生産事業者の所得向上につながる。また、「利根川・境町の水」関係商品のさらなる生産拡大により本町の知名度が向上することで、交流人口や関係人口の拡大にもつながる。こうした動きに連動する形で、本町まちづくり企業が拠点とし、「現代版河岸」でもある道の駅さかいなど新商品を取り扱っている施設への来場者増加、これを支える高速バスなどの公共交通網の活性化が図られることで、本町の観光産業全般が振興され地域経済全体の活性化につながり、本件施設や本町内における雇用の拡大につながる。</p>			
整備内容・利活用方策	<p>「利根川・さかい河岸」の魅力を高め、観光誘客に繋げていくため、「利根川・境町の水」と地元特産品等を組み合わせた新たな商品を研究開発し生産するための施設及び機材等を整備設置する。</p> <p>また、デジタル技術の活用としては、ペットボトルの成型から飲料の充填、ラベリング、印字、梱包まで一連の商品製造過程のすべてを自動化する機器を導入し、効率化と省力化を図る。</p> <p>【建築物本体工事】 210,199千円                  【建築物と不可分な設備工事】 70,707千円                  【設計費】 1,857千円</p> <p>【機材等設置事業】 67,207千円</p>		 <p>「利根川・境町の水」を活用した新たな特産品（イメージ）</p>	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における農林水産出荷額（+15,180千円）                  ②当該施設全体の雇用者増加数（+14人）                  ③当該施設で開発生産された商品を取り扱う町内事業者数（+25件）                  ④当該施設で出荷された商品の販売額（+75,900千円）</p>		関連URL	<p><a href="https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html">https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html</a></p>

申請者	茨城県境町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	334,400千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>本施設の整備により、町民満足度・幸福度を向上させるとともに、移住検討者に対し、観光地等として人気の軽井沢に施設を有していることによるメリットを強くPRすることで、本町への移住促進につなげる。また、本施設を拠点として、首都圏からの移住者や軽井沢駅周辺の観光客等に「境の魅力ある食」のPRや新商品等のテストマーケティングを行うことで、「境町ブランドアップ推進事業」の効果を高める。また、本施設を活用して英語教育とスポーツまちづくりの連携を行い、施策が高度化することで、本町のブランド力を高める。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>これまで企業の保養所として利用していた施設を、境町民が余暇を過ごすとともに、「英語合宿」「スポーツ合宿」等を体験することや、「境の魅力ある食」など町のPRを行うことができる施設にリフォームする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本体工事 鉄筋コンクリート造2階建て169坪のリフォーム</li> <li>・境町民が家族でワーケーションなどの余暇を過ごすことや、英語合宿やスポーツ合宿ができるよう、間取り変更やキッチン等をリフォーム。</li> <li>・干し芋やブランド畜産品、ウナギなどの川魚グルメといった「境の魅力ある食」を手にすることができ、本町の施策（特に自動運転やドローンなどのデジタル施策）をPRするスペースを整備。</li> <li>・軽井沢駅周辺での物販を継続的に行うためのスペースを整備。</li> <li>○外構工事 大型バスも可能な駐車場の整備。</li> <li>○無線LAN 施設の予約管理や物販の在庫管理などを効率よく行うとともに、ワーケーションにも対応可能な通信機器を整備。</li> </ul>		 <p>多くの人でにぎわう軽井沢町</p>
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域へのUIターン数（+220人）</li> <li>②「境の魅力ある食」の販売金額（+11,880千円）</li> <li>③本町と軽井沢町の交流人口数（+1,400人）</li> <li>④本件施設の利用者数（+7,560人）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html">https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html</a></p>

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	茨城県境町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	400,000千円（7,900千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	町内に不足していた宿泊施設を充実させるため、公募選定された民間の宿泊事業者と連携し、現在町にあるすべての宿泊施設と同等の宿泊室数を有する宿泊施設を整備し、本件施設を中心とした「境宿復興プラン」を構築実施することで、地域経済の活性化や移住定住の促進などにつながる。		
整備内容・ 利活用方策  ※経費内訳はR6年度事業費	<p>民間の宿泊事業者と連携し、宿泊施設を整備することで、町への来訪者の滞在時間を増加させ、地域経済の活性化を図る。</p> <p>また、民間の宿泊事業者による顧客管理システム及びスマートチェックイン・アウトシステムの導入やこれまで町が取り組んできたドローン・陸送を組み合わせた「新スマート物流」を活用した飲食物のケータリングサービスの提供など、デジタル技術を活用することで施設の利便性向上や業務の省力化を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【設計管理費】7,900千円</p>		 <p>新規宿泊施設の整備及び「境宿復興プラン」の構築実施による地域活性化（イメージ）</p>
KPI  ※カッコ内の数値は供用開始5年後の「KPI増加分」の目標値	<p>①地域における観光消費額（+756,525千円）</p> <p>②本件施設での宿泊客数（+50,435人）</p> <p>③本件施設を活用した「お試し宿泊」者数（+1,200人）</p> <p>④本件施設活用による雇用増加数（+14人）</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html">https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html</a></p>

# 事業概要【（仮称）利根町いきがいサポートセンター整備事業】

拠点補正

申請者	茨城県利根町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	185,009千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>小学校統合後の学校跡地について、大型遊具やキッズルームを備えた子育て支援施設、若者から高齢者まで幅広い世代の者がトレーニング等を行うことができる健康増進施設、デジタル技術を活用してeスポーツやテレワークを行うことができる施設、地元の町民団体等が活動の場所として活用できる施設等、様々な役割を備えた大型複合施設として整備する。これにより、町内外からの利用者を獲得し、地域の活性化へつなげる。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>以下の機能を備えた大型複合施設を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民のための健康増進施設</li> <li>・子育て支援・交流施設</li> <li>・テレワーク等に利用できるコワーキングスペース</li> <li>・貸出用レンタルスペース</li> <li>・eスポーツ施設</li> <li>・スケートボード施設 等</li> </ul> <p>・既存校舎改修工事費 163,985千円                  ・既存設備撤去工事費 7,886千円                  ・備品購入費 11,681千円                  ・ネットワーク設備改修工事 1,457千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の人口・世帯数(社会増減数)(+325人)                  ②本施設を活用した各種講座・イベント開催数(+38回)                  ③本施設の利用者数(延べ人数)(+86,000人)</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.tone.ibaraki.jp/page/page003526.html">https://www.town.tone.ibaraki.jp/page/page003526.html</a></p>